８　芸術（書道）

学校番号	１００８

令和３年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年前期
使用教科書	書Ⅲ　（光村図書）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書Ⅰ、書Ⅱの授業で学んだことを発展させて、さまざまな書を鑑賞し、創作する力をつけましょう。
・裏打ち作業など自分で作品を仕上げる楽しさを学び、書くということ以外のことも身に着けることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

月	題材名	学習内容･活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	漢字の書の美と文化	･漢字の書 甲骨文 礼器碑 喪乱序 魏霊蔵造像記 草書千字文	○			○	a:五書体の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 B：五書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:逆筆と順筆、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。 d:さまざまな五書体を学習し比較してみてそれぞれのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
4	漢字の書の美と文化	･学習した古典の中から一つ選択し、特徴や歴史などを調べ発表する。	○	○			a:書体について関心を持ち、積極的に特徴や歴史などを知ろうとしている。 b: 調べた書体について聞く人に分かりやすいように工夫しまとめられている。 c:発表のレポートの意図を明確にするための表現の技能を身につけ表している。 d:互いの発表を聞き、そのよさや改善点を考え創造的に味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
5 6	漢字の書の美と文化	･創作 五書体の中から書体を選択する。 字句選文 草稿 半切に創作 表具 鑑賞	○	○		○	a:五書体（楷書・行書・草書・隷書・篆書）の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身につけ表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

6	仮名の書の美と文化	・仮名の書 ・秋萩帖 ・升色紙		○		○	a:仮名の美（連綿、散らし書きなど）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:仮名の基本的な表現方法を理解し、自らの意図に基づいて工夫している。 c:基礎的・基本的な連綿や散らし書きの技法を身に付け表している。 d:さまざまな古典を学習しその良さや改善点を考え創造的に味わっている。	観察 提出作品
7	仮名の書の美と文化	・短冊作り 和歌の中から選択し創作する。 鑑賞	○		○	○	a:和歌について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:カルタ作りの基本的なことを理解し、自らの意図に基づいて工夫している。 c:基礎的・基本的な仮名の技法（連綿、散らし）を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
8 9	漢字仮名交じりの書の美と文化	・さまざまな漢字仮名交じりの作品を鑑賞する。 自ら選んだ言葉を使って創作する。		○		○	a:漢字と仮名の調和について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:一番省略された用筆法や単純化された平仮名の筆使いについて理解し、表現を工夫している。 c:平仮名の単純化された筆使いを身につけ表現している。 d:漢字と仮名の調和について理解し、そのよさを味わっている。	観察 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。